

宇宙システムの抗たん性（Resilience）向上：集約型から分散型へ

（一部システムが機能喪失しても、宇宙システム全体で、最低限の機能を保障）

宇宙システムの機能分散型・小型化への移行（複数衛星で分散、機能維持）

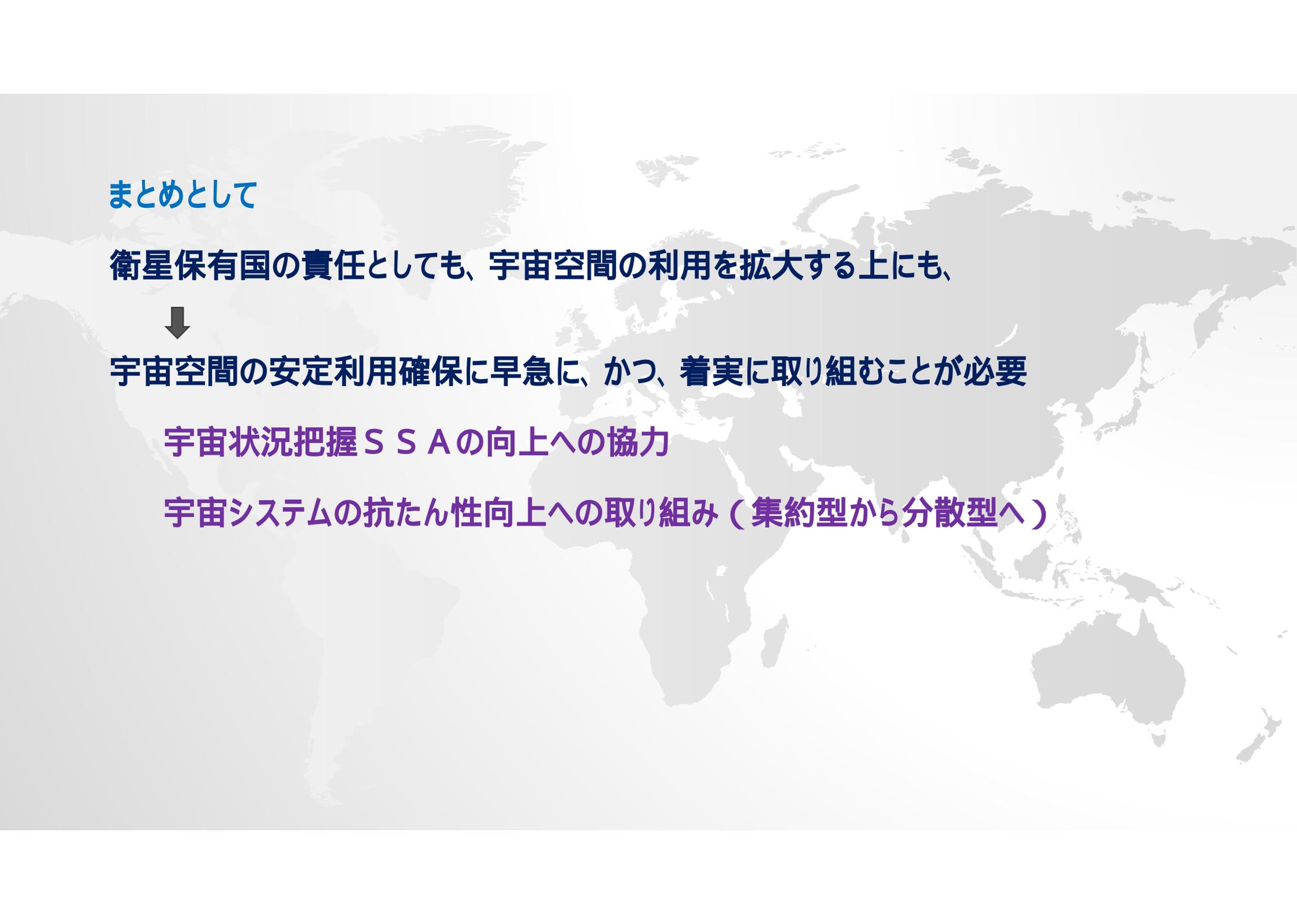
民生用、防衛用衛星の相互活用、相乗りなどの推進（相互補完）

即応小型衛星等による対処能力の獲得（緊急対処）



宇宙システムの共同運用など、コアリッションを構築

国際規範の構築（宇宙活動に関する国際行動規範等）



まとめとして

衛星保有国の責任としても、宇宙空間の利用を拡大する上にも、



宇宙空間の安定利用確保に早急に、かつ、着実に取り組むことが必要

宇宙状況把握SSAの向上への協力

宇宙システムの抗たん性向上への取り組み（集約型から分散型へ）